

「徳島県GX推進計画」の概要

～徳島からはじまる、新時代の脱炭素移行戦略～

資料 2-2

1 計画の位置づけ

- 「徳島県総合計画」や「徳島県環境基本計画」を上位計画とする地球温暖化対策に関する個別計画。
- 地球温暖化対策推進法第21条第3項、気候変動適応法第12条等に基づく計画。
- 本県の**脱炭素に関連する5計画を統合**し、総合的かつ一体的に推進する計画。

2 目指すべき将来像

「**サステナブルな新しい暮らし**」の実現

3 計画の基本コンセプト

県民が主役となって進める
サステナブルな社会の構築

4 重点戦略

「かえる」：暮らしをかえる**徳島県版「GX」**の展開

～地域・くらしの
脱炭素トランジション（移行）の促進～

5 計画の期間

令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）

6 全体目標

2028年度

温室効果ガス
排出量
▲46%
(2013年度比)

国の目標の
2年前倒し達成
を目指す

2030年度

温室効果ガス
排出量
▲50%
(2013年度比)

クリーンエネルギー
電力自給率
70%

2050年度

温室効果ガス
排出量

実質ゼロ

を実現

7 施策体系(GX推進パッケージ)

エネルギー対策

クリーンエネルギーの
最大限導入

省エネルギー対策の
徹底

一体推進

一体推進

資源循環対策

脱炭素に向けた
循環型社会の構築

相乗効果

吸収源対策

地域資源を活用した
吸収源対策

県民総ぐるみによるGXの加速

8 主な取組内容

第1
クリーンエネルギーの
最大限導入

「太陽光発電設備・蓄電池・EV」の「脱炭素・三種の神器」の導入促進
充電インフラの整備推進
地域の課題を解決し、地方創生と脱炭素を同時実現する「地域脱炭素」の推進

第2
省エネルギー対策の
徹底

PPAを活用した太陽光発電の県有施設への率先導入
ビル・住宅のZEB・ZEH化の推進

第3
脱炭素に向けた
循環型社会の構築

太陽光パネルのリサイクル・リユースシステムの推進
ペットボトルや衣類をはじめとする資源循環の啓発推進
徳島バッテリーバレイ構想の推進

第4
地域資源を活用した
吸収源対策

花粉が少なく初期成長が早いエリートツリーへの転換
県有林による排出量取引制度導入推進

第5
県民総ぐるみによる
GXの加速

「県民主役」の起点となる環境保全活動の拠点創出
地域ぐるみでの中小企業に対する脱炭素経営支援

9 主な数値目標

新車販売台数に占めるEVの割合	0.6%(2021) ⇒ 16%(2028)
県有施設への太陽光発電設備設置率	59.8%(2023) ⇒ 80%(2030)
県有施設への太陽光発電設備容量	936kW(2023) ⇒ 2,800kW(2030)
資源循環に向けた都市鉱山回収量 (県民1人あたりの小型家電回収量)	1.08kg/人(2020) ⇒ 2.2kg/人(2028)
県産材の生産量	41.8万㎡メートル(2022) ⇒ 60万㎡(2028)
環境アドバイザー派遣件数(累計)	1,100件(2022) ⇒ 1,520件(2028)

ほか